

## 第 2 回 学校運営協議会記録

### 0. 授業見学

#### 1. 学校長挨拶

- ・ 19 号台風。全国的な被害、まだ完全に把握しきれていないが、71 河川 135 箇所以上氾濫。
- ・ 本校でも 10 月 5 日（土）9:00 に一号配備。
- ・ もし、大和川が氾濫したらグラウンド 30 c m 冠水。高速道路の下は 1 m ぐらい浸かったままの状態。
- ・ 避難所として、地震と水害両方の対応が必要。「目標」にはないが、生徒の命を守る体制作りをしなくてはと考える。

#### 2. 取り組みの進捗状況

広報・1 年主任・2 年主任・3 年主任・教務部・進路指導部・生徒会・生徒指導部・総務部・保健部の順で報告。

#### 3. 生活実態調査結果報告

ベネッセのテストに合わせて平成 28 年度から実施。今年度は 4 月と 8 月の 2 回。返答率はほぼ 100%。

【スマホについて】ほぼ 100%所持。料金を「自分で払う」率は、学年が上がるにつれて「アルバイト率」と合わせて高くなる傾向。平日の使用時間は「2 時間以上使用」が 9 割近く。1 年生が特に多い。

【アルバイトについて】年生 4 月 18 日の調査では 20%が行っている。8 月には 5 割超、3 年生では 8 割超。進路指導を放課後に行うため居残りさせているが、生徒を残すのに苦労している。勤務時間は平日「4 時間以上」。睡眠時間を始め、基本的な生活習慣に影響している。

【部活動について】3 割が経験有り。生徒会の把握とほぼ同じ。ただ、「入部しているが活動していない」状況も一定数有ると見ている。

【昼食の摂り方について】6 割が弁当持参。わりと高い数値だと感じている。ただ、「ほとんど食べない」生徒が一定数(1.8~3.8%)いることを、特に担任は認識すべき。食堂の利用について、3 年生はフロア移動をして食堂が遠くなったが、利用率に大差は無かった。朝食を「毎日食べる」と答えた生徒は少ない(53~63%)。学習面にも影響する。保健日より等で啓発したい。

【睡眠時間について】学年が上がるにつれて短くなる傾向。スマホ、アルバイトなどが原因かと推察される。「4 時間以下(1 年:8.5%、2 年:11.6%、3 年:20.4%)」については健康被害の啓発も必要。

【「中学時代、本校にどの程度入学したかったか」について】7 割が肯定値(39 期生)。昨年(38 期生)と比べてかなり高い。

【授業の進度について】「ついていけている」と回答した生徒が多い。英数の少人数展開も好影響か。「先生の話聞いているか」については、「聞いている」が多い(66%~85%)。一方で、授業中のクラスの雰囲気について、「私語する者がある」と回答(32%~49%)。表現が難しいが、「しゃべってはいるが、ノートは取っている(聞いている)」様子を表している。私語・居眠りなどには継続して指導が必要。

【「満足度」について】2 年生は、入学時 61%から 42%へ減。1 年生は、本校に「入学したかった」7 割に対して、59.7%。学校生活の満足度には繋がっていない様子。

【「先生との関係」について】否定値が低く(2.6~8.8%)、おおむね良いと分析。

【手帳の活用について】使用率は高くないが、日常的に使用している者が 1~2 割程度居るのは一定の成果を得ている。時間割・提出物などについて、積極的にメモを取らせるような声かけなど、今後も利用するための工夫が必要だと考える。

#### 4. 協議

協議員：厳しい状況の中での、先生方の工夫をひしひしと感じる。例えば、調査結果の「入学したかった」肯定値7割という数字が証左。もし、「満足度」が減っている理由について分析があれば教えて欲しい。

首席：生徒は、落ち着いて授業を受けている状況である。

1年主任：「7割肯定」は驚いた。1～2割は中学時に不登校傾向だった。中学と比べ「色々なルール」が厳しくはなる。慣れてきたら大したことと感じなくなるが、始めのころは「ルールを守る」ことが強く意識され、「楽しさ」や「満足」にたどり着かないのかもしれない。遠距離通学が不登校傾向に拍車をかけている例もある。2時間近くの通学時間というケースも。遠い生徒ほど、しんどい傾向はあると感じる。

協議員：先ほどの報告にあった、保健室の来室者増にも関連していると思う。来室者の学年別傾向はあるか？

保健部長：3年は少なく、1・2年生は多い。不登校と関連するのだろうか。

1年主任：家庭の状況がしんどいケースも増え、児童相談所との連携事象も増加している。利用増には物理的距離が近くなった事も影響があるのかも。体育を頑張りすぎて、しんどくなって利用する例もある。

協議員：平野高校を希望して入学した生徒が2割から7割に増加している。驚きの実績である。先ほどの報告にもあったが、3年生で辞めた生徒がいない。これこそが平野高校の魅力。1・2年生はどうしても辞めてしまうことは有るが、学年上がるにつれて学校に定着している。

小学生とのビオトープでの交流も毎年行っていて、感謝している。生徒は、やんちゃな児童の気持ちをわかって上手に対応してくれる。

協議員：各学年1クラスずつ、授業を見学した。1年生は初任の先生の授業を見学した。熱い授業だった。生徒と年代も近いので、内容は難しかったが生徒は集中していた。2年は学年主任の授業を見学した。ピリッとした雰囲気の中にも笑いがあり楽しめる授業だった。3年生は、生徒が教壇に立って進行していくスタイルの授業だった。だいたい座って授業を受けれていた。

先生方も、色々な生徒がいる中で、配慮・工夫などを考えるのが難しいと感じた。

今、ニュースで出ているが、学校の先生同士のトラブル・ハラスメント等について質問。職場における社会福祉法人の管理者としても職場の人間関係には特に気を遣う。自分は「職員と近く」「話す機会を持つように」など工夫をしているが、もし、何か取り組まれている事があれば教えて欲しい。

校長：管理職としては特に何もできていないが、教員の呼びかけがきっかけで、10月13日に大阪城リレーマラソンに30名参加した。それに向けて放課後できるだけ17時に仕事を終わらせて、練習会を行ったりする取り組みもあった。中には練習のあと、急に残業せざるを得ない例もあったが。「やろう」といった時には協力して取り組める状況。「いざというとき」に駆けつける、廊下当番など、仕事量は多くなってしまふ。人間関係については、教頭を中心に調整し、教員が主体的に取り組めるようにしている

3年主任：(職員向けの啓発等について)自分は主任の中でも年長である。あまり強く言うとパワハラになってしまうかも、と悩むこともある。昨年度は教員向けに学年通信を発行した。普段から言葉遣いについての注意喚起や、生徒に勉強することを注意する前に教員自らが勉強するように意識付けするなど、啓発を行ってきた。

神戸の事件では教員がそれぞれにどんなストレスを感じていたのか気になるところだ。

協議員：PTA会長として2年目。生徒との関わりは、体育祭・文化祭など大きな行事が多い。湯茶サービス等の際、「ありがとう」といってもらえるのが嬉しい。生徒の笑顔に元気付けられる。文化祭も「おいしかった」「ありがとう」といってもらえるよう、気合を入れて頑張りたい。

ボランティア部の介護施設での交流会には、今年度も期待している。

#### 5. まとめ

今日は、進捗状況の報告の会。今回頂いたご意見等を参考にしながら、次回により良い報告ができるようにしたい。次回は第3回。1月29日(水)予定。